



ほっと福岡

No.39 2019年3月発行

目次

多様な子どもたちへの理解と支援 <西部療育センター公開講座> .. 1
【特集】第11回研究・実践成果発表会
肢体不自由児への学齢期支援
強度行動障害者支援の実践と移行型グループホームの開設について
共に考える気になる子への関わり
企画・イベント・研修・セミナー情報
相談窓口一覧

多様な子どもたちへの理解と支援 ～集団の中で育ちを支える～ 西部療育センターで公開講座を行いました

西部療育センターでは、啓発事業の一環として、早良区・西区の幼稚園や保育所(園)の職員の方々を対象に、公開講座を実施しています。今年度は「多様な子どもたちへの理解と支援～集団の中で育ちを支える～」をテーマに、講演会と施設見学を行いました。

講演会① 『多様な子どもたちへの理解と支援』

療育センターの役割、受診から療育、保育所・幼稚園との連携や就学までの流れについて、また、発達障がい の特性や支援について等の講義を行いました。



約50名の方が参加され、熱心に受講されました。

施設見学



各フロアにおいて、担当職員が療育の具体的な説明や支援グッズの紹介などを行いました。

講演会② 『集団の中での保育の工夫』

上手なほめ方のポイント

- 良い行動を見たらすぐにほめる
- 子どもが分かる言葉や表現を使う
- 子どもに合ったほめ方をする
- 具体的に何が良かったか伝える

環境を整えるポイント

- 気になるものや苦手なものを取り除いておく
- 事前に予定を視覚的に示す
- 指示やルール、すべきことを視覚的に示す
- 適切な行動を始めやすいよう手がかりを目立たせる
- 本人の好きなものや活動を取り入れる
- 適切な行動を始めやすいように道具などを工夫する

など、子育てにも役立つ保育の工夫等について講義を行いました。

【参加者の感想】

- ★ 療育センターや発達障がいについて知らなかった部分がたくさんあり、勉強になりました。実際の保育で役立てていきたいです。
- ★ 困った行動ばかりに目がいってしまうことが多く、スモールステップや良い行動を見逃さず認め、成功体験を積む大切さを改めて感じました。
- ★ 実際に見学したことで、見通しを持って生活するための絵や写真等が見られてよかったです。
- ★ それぞれの部屋でどのようなことが行われているか、実際に目で見ながら話を聞けたので、分かりやすかったです。